

技術者No.76085

工事名 平成 24 年度 志太海岸線道路築造工事(第 2 工区)

題 名 道路工事における工夫について

株式会社 橋本組
半田 肇

工事概要

発注者 焼津市役所都市整備部区画整理課

工事場所 焼津市会下ノ島石津土地区画整理事業区域内

工 期 平成 24 年 8 月 3 日～平成 25 年 3 月 22 日

1. はじめに

本工事は、焼津市会下ノ島石津土地区画整理事業区域内において区画整理事業に伴う道路の新設工事でありました。

工事箇所は主要道路の抜け道として使用されることの多い比較的交通量の多い幅員 3.5m の道路であり、交通規制(通行止)を行わず幅員 27m の 4 車線道路(舗装構成として、路床盛土、下層路盤、上層路盤、瀝青安定処理、基層、表層)につくりかえるため、一般車両通行帯の確保をしながらの施工となりました。



着手前の市道の様子

2.現場における問題点

一般車両を通行させながら、道路工事を行うに当たり現地踏査を行い、仮設道路を施工するに当たり複数の問題点が発生しました。

- ① 仮設道路による一般車両走行時の安全
既設道路と新設道路の高低差が大きく、一般車両走行時における安全の確保が求められた。
- ② 上空施設等への影響
既設道路沿いに建てられている電柱の移設及び抜柱が済んで無いため、電柱の転倒、架空線等上空施設への影響が考えられた。
- ③ 地下埋設物への影響
既設道路には水道管(石綿管)が埋設されているため、破損の影響が懸念された。

3.工夫・改善点と適用結果

① に対する対策について

着工時点では、区画整理事業における家屋移転及び解体が完了しておらず、長期に渡り仮設道路を維持し、安全に通行させるため設置箇所及び縦断勾配に配慮しました。設置箇所においては、見通しが良い道路では走行スピードが速くなるため、直線区間をなるべく少なくし、幅員を既設道路と同じ**3.5m**としました。また、狭い幅員では車両同士のすれ違いが困難なため、延長**160m**区間の中で待避所を**2ヶ所**も設けました。走行時の安全対策としては、仮設道路を防塵舗装することにより、粉塵の防止及び維持管理ができ走行に支障のないように施工を行ないました。起点側の施工箇所において、既設道路と新設道路の計画高に差があり、路床盛土完了時の降雨時における浸水の可能性があったため、当初予定をしていた路床盛土面での仮設道路開放を断念しました。その上で盛土することにより段差のない仮設道路を築造することで浸水の可能性を回避しました。



防塵舗装施工状況

② に対する対策について

沿線には家屋が数件並んでおり、工事箇所を設置されている電柱より受電を行っていたため、移設が全くできない状況でした。また、移設をする際の準備が整っておらず工事終盤まで調整がとれない状態でした。そのため電力会社と打合せを行い根入れ長を確認し、電柱回り 2m 四方を残し掘削を行うことで電柱の転倒を予防し、路床盛土の施工を行いました。また、電柱が設置されていた箇所については監督職員と協議し抜柱完了後に路床入替を行うこととしました。



路床盛土施工時における電柱配置状況

③ に対する対策について

既設道路に石綿管が埋設されており、沿線住民の水道供給管となっていました。そのため、別途発注による水道工事を一部完了させ石綿管の撤去を行うこととなったが、大型車両の通行による漏水が頻繁に起こっていたとの情報もあったため、工事車両の仮設通路が必要となりました。既設の一般車両通行帯が新設道路センター付近であったため、前年度工事により施工された側溝との間を仮設道路として使用し工事を行いました。



既設一般車両通行帯

4. 工事完了にあたり

本工事は区画整理地内であったが比較的交通量の多い箇所での施工であったため、一般市民・通行者への支障をいかに少なくできるかを考え施工を行いました。今回の対策により、一般車両、通行者への安全の配慮ができ、現場内での安全管理・施工管理がより容易にでき、また上空施設及び地下埋設物への影響もなく無事工事を完了することが出来ました。